

第26回関西小学生ゴルフ選手権春季大会 決勝

【主催】スポーツニッポン新聞社
関西高等学校・中学校ゴルフ連盟
【後援】一般社団法人関西ゴルフ連盟
【協賛】住友ゴム工業株式会社
総合教育・生涯学習機関ECC

開催日 2026年2月8日(日)
開催コース ダンロップゴルフコース

<ローカルルール>

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 修理地は青杭または白線によってその縁を定める。
3. レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。杭と線が併用されている場合は、線がその縁を定める。
4. 第3番、15番、16番ホールでレッドペナルティーエリアの中に球があるか、見つからない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ1罰打で：
 - ・規則17.1に基づき救済を受ける。または、
 - ・追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。球がこのカート道路の上に止まっているか、またはスタンスがかかる場合はホールに近づかず、ニヤレストポイントから1クラブレンジ以内に無罰でドロップしなければならない。
7. 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。＜ローカルルールの違反の罰＞一般の罰(2罰打)。
8. 規則5.5は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。＜ローカルルールの違反の罰＞一般の罰(2罰打)。
9. 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンとカートナビによって伝えられる。その他すべての中断は、短いサイレンの繰り返しとカートナビにより伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンとカートナビによって伝えられる(規則5.7b参照)。
10. プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合：
 - (a) ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則16.1bに基づいて救済を受けることができる。
 - (b) パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則16.1dに基づいて救済を受けることができる。しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした

後にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレンジ以内に
ある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないこ
とを意味している。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰:規則14.7aに基づく一般の罰。

< 注 意 事 項 >

1. ローカルルールや競技の条件に追加・変更がある場合は、クラブハウス所定の位置に掲示する。
2. 受付
・各自スタート時間の 30 分前までに、クラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませること。
スタート 15 分前にはティーイングエリア周辺に待機すること。プレー終了後は自動精算機にてプレー費の精算を行うこと。※大会受付は練習前に必ずプレーヤー本人が済ませること。
3. 練習
打球練習場の使用とパター練習のみ可能(アプローチ練習・バンカー練習禁止)。
4. スコアカード
・スタート時に大会指定のものをマーカーに渡す。指定されたマーカーは各ホールごとにカードに記名されたプレーヤーのスコアを記入し、ホールアウト後にプレーヤーに渡すこと。競技に関することやスコア、その他で疑問がある場合は、スコアカード提出前にプレーヤー本人が競技委員会に報告すること。
※提出前にスコア誤記(過少申告)がないか、本人署名、マーカー署名があるかを十分に確認すること
5. ゴルフカート
・プレーヤーの使用、乗車を認める。運転、操作は禁止する。運転はスコアラーが行う。
6. スコアラー
・各組1名のスコアラーが同行する。プレーヤーは各ホールごとにスコアラーとマーカーに自分のスコアを伝えること。
7. 使用ティー・グリーン:ゴールドマーク。B グリーン(予定)。
8. 距離測定器
使用を認めるが、2 点間の距離のみ。高低差の測定はできないので注意すること。
9. その他
・グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
・目土袋、スコップは常に携帯し、目土を実行すること。
・ラウンド中に体調が悪くなった場合は無理をせず、スコアラーに伝えてプレーをやめること。
・風呂の使用は原則として禁止する。
・競技委員会の決定に対するクレーム、抗議は認めない。
・大会当日は貸し切りではない為、ティーマーカー、プレーイング4の特設ティーが設置してあるが、本競技には適用しない。プレーの妨げになる時は動かせる障害物とする。

競技委員長